

じんけん くらしの扉

淡路市人教事務局だより No.47

淡路市内にあるキリスト教会

以前に、市役所国際交流係の人に聞いた話ですが、市内で暮らし始めた外国の人に「近くに教会がありますか？」とよく質問されたそうです。

私は、4年ぐらい前に東浦地域の横山町内会長をされていたワトソン・ロバートさん（カナダ人）に出会い、取材させてもらったことがあります。

小高い山の上の畑で数多くの野菜を作り、ストーブの薪を集め、淡路市にある自然を楽しんで生活しているワトソンさんに新鮮な雰囲気を感じ、驚きました。何と、ワトソンさんは、自宅付近の上にある「希望イエス・キリスト教会」を主宰する牧師さんだったのです。ホープ教会は、単立で、団体として活動しないそうです。

普段、私たちが心の安定を求める仏教等の宗教と同じように、淡路市内で暮らす外国の人にも心のやすらぎを生活の中に求めていることが理解できます。同時に、淡路市にキリスト教の教会もあることが、多様性があり豊かさがあると感じます。

教会の礼拝は、毎日曜日午前10時30分から行われています。（問い合わせ：電話 0799-74-6053）

皆さんも一度、訪れてみてはいかがでしょうか？

（※筆者は、特定の宗教を意図的に宣伝しようとしているものではありません。単に淡路市に教会があることをお伝えしています。）



ホープ
「希望イエス・キリスト教会」



イスラム文化について
2月16日の研修は、大阪大学の留学生（ウズベキスタンのジャスルさんの講話でした。彼によるとイスが「イスラム国」を名乗っている関係で、本来のイスラム文化のイメージが歪められていることや、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教が同じ流れを組む歴史を持っていることを学習しました。

又、イスラムの教えにより豚肉やアルコールなど食べてはいけない食品がありますが、正規の手順で屠殺された肉など食べてよい食品（ハラール認証を受けた食品）を共同購入して生活していることが理解できました。

大人の居場所」（NPO法人「子どもの里」館長・荘保共子さん）

⑤北淡支部保育所部会「聞こえないことはどんなこと？」（兵庫県聴覚障害者協会・山本紋子さん）

⑦と⑧2月16日市人教理事等視察研修（大阪府茨木市豊川人権センター）「隠れキリシタンの歴史」と「イスラム文化」

来年度も、自助・共助・公助の精神の拡大のため、様々な人権課題を自分事の学習として感じてもらえる「場」を提供していきます。

市内に誰もが、「心の安心ネットワーク」を確立できるよう活動していきます。